



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年12月10日朝刊 中部版



アサギマダラの幼虫が越冬しているキジョラン
＝静岡市葵区の高山・市民の森



越冬するアサギマダラの幼虫＝静岡市葵区の高山・市民の森
フジバカマの蜜を吸うアサギマダラ＝10月中旬、静岡市内

旅するチョウ

アサギマダラ

葵区で越冬

高山・市民の森

幼虫好むキジョラン植栽奏功

静岡市葵区の高山・市民の森で、長距離を移動するチョウで知られる「アサギマダラ」が幼虫の状態ですぐに越冬する様子が観察できる。厳しい冬を乗り越えた幼虫は、暖かくなる春にサナギからチョウへと姿態。故郷から遠くへと旅立っていく。

同施設では12年ほど前に「昆虫教室の教材に」と、アサギマダラの幼虫が好むガガイモ科のキジョランを植栽。5年ほど前から越冬幼虫の姿が観察できるようになったという。施設管理人の大棟克己さん(75)によると、今年は10月上旬に産卵に来たと思われるチョウを確認。同月中旬にキジョランの葉裏に幼虫を見つけたという。12月9日現在、体長約2ミリから5ミリほどの幼虫が多数観察できる。大棟さんは「これからも成長を見守っていきたい」と話す。

「県内ではキジョランは多く自生している植物ではないので、このように越冬幼虫を間近で観察できるのは珍しいのでは」と、元静岡サレジオ高教諭で同施設の昆虫教室の講師を務める杉本武さん(81)。春に羽化したチョウは、夏は涼しい気候を求め山間部へ移動。秋には山を下り、産卵をしながら暖かい南方へと飛んでいくという。

(写真部・坂本豊)

- ①記事の見出しにある「旅するチョウ」とは、「アサギマダラ」がどのようなチョウであることを言っていますか。
()
- ②「アサギマダラ」の幼虫が好む植物は何ですか。
()
- ③「アサギマダラ」はどのような形で厳しい冬を越えますか。
()
- ④春に羽化した「アサギマダラ」は夏にはどこに移動しますか。
()

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/理科、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年12月10日朝刊 中部版



アサギマダラの幼虫が越冬しているキジョラン
＝静岡市葵区の高山・市民の森



越冬するアサギマダラの幼虫＝静岡市葵区の高山・市民の森
フジバカマの蜜を吸うアサギマダラ＝10月中旬、静岡市内

旅するチョウ アサギマダラ 葵区で越冬

高山・市民の森

幼虫好むキジョラン植栽奏功

静岡市葵区の高山・市民の森で、長距離を移動するチョウで知られる「アサギマダラ」が幼虫の状態ですぐに越冬する様子が観察できる。厳しい冬を乗り越えた幼虫は、暖かくなる春にサナギからチョウへと姿態。故郷から遠くへと旅立っていく。

同施設では12年ほど前に「昆虫教室の教材に」と、アサギマダラの幼虫が好むガガイモ科のキジョランを植栽。5年ほど前から越冬幼虫の姿を観察できるようになったという。施設管理人の大棟克己さん(75)によると、今年は10月上旬に産卵に来たと思われるチョウを確認。同月中旬にキジョランの葉裏に幼虫を見つけたという。12月9日現在、体長約2センチから5センチほどの幼虫が多数観察できている。大棟さんは「これからは成長を見守っていきたい」と話す。

「県内ではキジョランは多く自生している植物ではないので、このように越冬幼虫を間近で観察できるのは珍しいのでは」と、元静岡サレジオ高教諭で同施設の昆虫教室の講師を務める杉本武さん(81)も、春に羽化したチョウは、夏は涼しい気候を求め山間部へ移動。秋には山を下り、産卵をしながら暖かい南方へと飛んでいくという。

(写真部・坂本豊)

- ①記事の見出しにある「旅するチョウ」とは、「アサギマダラ」がどのようなチョウであることを言っていますか。
((アサギマダラが) 長距離を移動するチョウであること。)
- ②「アサギマダラ」の幼虫が好む植物は何ですか。
((ガガイモ科の) キジョラン)
- ③「アサギマダラ」はどのような形で厳しい冬を越えますか。
(幼虫の状態ですぐに越冬する。)
- ④春に羽化した「アサギマダラ」は夏にはどこに移動しますか。
((涼しい気候を求めて) 山間部へ移動する。)

年 組 名前